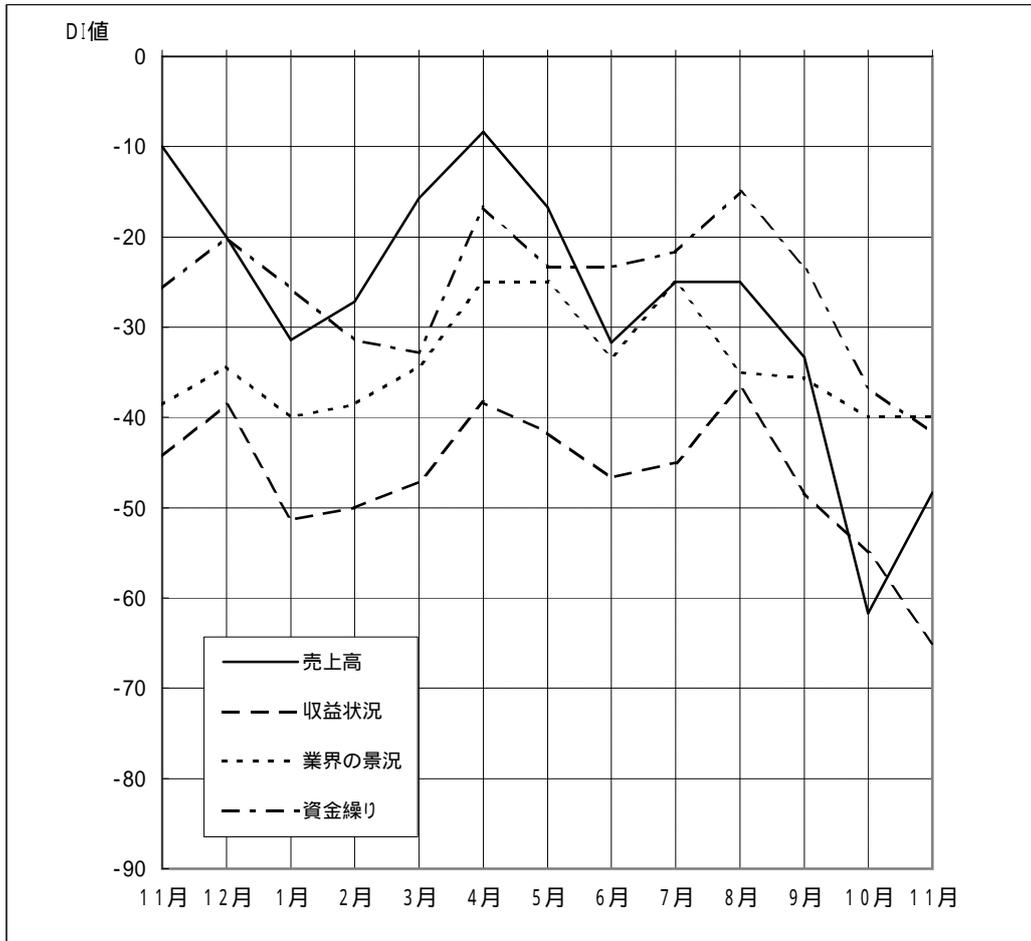


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成15年11月～平成16年11月

単位:ポイント



	h15		h16										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	-10	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7	-8.3	-16.7	-31.7	-25.0	-25.0	-33.3	-61.7	-48.3
収益状況	-44	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1	-38.3	-41.7	-46.7	-45.0	-36.7	-48.3	-55.0	-65.0
業界の景況	-39	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3	-25.0	-25.0	-33.3	-25.0	-35.0	-35.6	-40.0	-40.0
資金繰り	-26	-20.0	-25.7	-31.4	-32.9	-16.7	-23.3	-23.3	-21.7	-15.0	-23.3	-36.7	-41.7

11月のDI値をみると、前月より「収益状況」で悪化し、「売上高」は好転、「景況」は不変であった。「売上高」は前月より13.4ポイント好転し、マイナス40%台に推移した。「収益状況」においては、10.0ポイント悪化し、マイナス60%台に推移した。収益状況は、ここ3ヶ月間、悪化傾向が続いていることから、厳しい状況であることが窺える。

組合の特記事項からは、先月に続き、総体的に新潟県中越地震による影響についての報告が多い。「木材・木製品」の一部では震災特需により繁忙とする報告があるのだが、他のほとんどの業種において、地震の影響で直接的あるいは間接的に経営活動に支障をきたしているとの報告が多く、売上減少や顧客離れに苦しんでいる状況。震災後、復興が進む中、体力がなく立ち直れない中小企業もあり、中越地震は県内に深刻な影響を与えている。